

まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目 7 番 9 号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/>

<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和 7 年 5 月 1 日

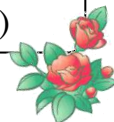
第 7 9 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(5 月・9 月・1 月 発行)



～ 読書のすすめ ～

理事長 神谷 和孝

三年程前、次第に右眼の視野がボンヤリしてきたので眼科で診察してもらったら網膜が傷ついているので小さい字などはダメですよと念をおされた。

(今まで使った本代は大袈裟に言うとかさい家だったら一軒建つぐらい) 読書好きの私にとっては、大きなショックだった。それ以来、最近まで読書や原稿は極力避けてきた。それでも新聞の広告などで読みたい本があれば、すぐに本屋に走り買い求めたり、注文にて本棚に飾っておいたりした。永らく眠らせておいた私の読書欲が急に覚醒したのはつい最近である。買い求めていた本の一冊 “九十歳のラブレター” が私の机の上にあり、何気なく開いたページに眼を通すと読みやすい文章と作者の亡くなった妻への気持ち伝わってきて、3 日でその本を読み終えてしまった。この本に接したことで今まで眠らせておいた読書熱が一気に目覚め、4 室にある本棚の中からどうしても読みたいものを一ヶ所にまとめておいて、『さて、どれから読んでやろうかな』と心おどる毎日です。

私は小学生の時から本好きでした。“小公子”、“トム・ソーヤーの冒険”、“十五少年漂流記” 等、今でも読まれている名作に心おどらせたものです。

私の今までの人生をふりかえって見て、読書という趣味を持続させていて良かったと思います。私の読書の内容は特に傾向がなく、幅広い分野で、社会人となってから色々な分野の人との対話で、読書から得られた知識が生かされ、スムーズに話が出来たことで、そのことで私の人格が評価されて、社会的立場に立てたこともあります。

然し、読書ということは “人との対話がスムーズに” と言うことよりもっと大きな意義を持っていると思います。

わたしの尊敬している哲学者の谷川徹三 氏 (詩人 谷川俊太郎の父) が、“書物の中の一つの言葉が後々まで心に残って、その人の人生行路まで大きな作用” すると言われていますが、私の人生をふりかえった時、まさにその通りだと痛感しました。

この文を読んで下さっている皆様、読書していますか？今、IT の進歩で若い世代の読書ばなれが激しいとのことですが、読書も大切なことですので、そのことも頭に入れて、たまには本屋をのぞいて下さいね。あなたの人生を変える本にめぐり会えるかもしれませんよ。



年度も変わり、新しい環境になった方や、新しい取り組みを始めた方もいるのではないのでしょうか？ すみれ工房でも新しい顔ぶれもあり、様々な活動を試みています。色々な活動を通して「働きたい」、「働き続けたい」をサポートしていきます！



Facebook では毎月の様子と詳細もお知らせしていますので巻末のQR からご確認ください。

空き状況（5月1日現在）

移行支援

・・・若干名

継続支援B型

・・・要相談

今年度も観桜会に BBQ と色々な行事を年間で予定しています。利用者さんの中には新型コロナの流行最中から利用となり、こういった行事への参加が初めてという方もいますが、その時々で楽しんで参加されています。中には日々の作業よりもこういった行事を特に楽しみにされている方もいます。😓💧

すみれ工房では、日々の作業活動や就職活動の気分転換だけでなく、余暇活動の充実という観点からも、毎月のミーティングや玄関に設置してあるご意見箱で希望を募って様々な行事を行っています。😊



スポーツレク



一部の利用者さんに大人気★



前号にも掲載していますが、健康増進と日々の作業活動や就職活動の気分転換を兼ねて、スポーツレクリエーションを定期的に行っています。

2月に実施した時は参加者が少なかったですが、人が少ない中だからこそできることを！

ということで、スポンジボールを使って野球っぽいことやバスケットボール、卓球、バドミントンなどで体を動かした後・・・何故か利用者さんによる、ダンス披露の時間となりました。😊

個人的に練習されているそうで、普段の作業活動の中では見られない キレッキレな動きを見せててくれました♪





災害に備えて



令和 6 年 4 月より、指定障害福祉サービス事業者に対して BCP 策定が義務化されました。これは、利用者の安全確保と事業継続の責任を明確にするため、本法人においても BCP を策定し取り組みを行っています。

BCP とは・・・

業務継続計画（BCP：Business Continuity Plan）といい、災害などの緊急事態においては、通常通りの業務実施が困難になることから、業務を中断させないように準備するとともに、中断した場合でも優先業務を実施するため、あらかじめ検討した方針、体制、手順等を示したものです。

これまでも、火災を想定した避難訓練や消火訓練、津波や洪水などの水災害を想定した避難訓練を実施してきていますが、昨年の 8 月 8 日には宮城県東部の日向灘を震源とする地震が発生した後、『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表されました。同じく 8 月 12 日には解除されましたが、政府の地震調査委員会は、30 年以内に南海トラフ周辺で M8.0～9.0 の巨大地震が発生する確率を 80%程度としています。

『南海トラフ地震』に限らず、普段からの災害に備えての取り組みや確認はとても大切です。

すみれ工房では、毎月行っている利用者ミーティングや避難訓練などを通じて、災害発生時の対応や避難方法などを確認しています。

災害用伝言板を使った
模擬訓練もしています



東京消防庁の電子学習室
参考にさせてもらっています



避難訓練の様子



地震や災害発生時の対応について

大きな揺れが発生した場合と津波警報が発令された場合
ります。

1. 開所時間中における対応
ア、安全を確認後、施設正面の民間駐車場へ避難し
イ、避難場所への避難が必要と判断された場合、避難
福山市立東中学校へ避難します。



とまり木通信



報告

季節の行事に行ってきました



福山城 豆まき&恵方巻



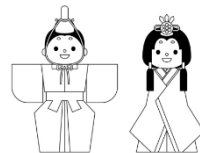
徳永製菓さんの豆をいただきました



すし丸さんの
恵方巻



鞆 街並雛まつり





春の訪れ告げる黄色い絨毯！笠岡

「葉の花って桜よりも早く満開になるんですよ！」

そんな話を聞いて、普段からよく行く笠岡ベアフームの菜の花畑へ行ってきました。

「菜の花見に行く」のは口実でみんなそれぞれここに、お目当ての食材があるんです。

この日も、それぞれいつものお店の方と直接話しながら交渉していました。

そして、目の前に広がったのは、3月とは思えないほどの鮮やかな黄色の絨毯！思わず歓声があがりました。

当日は青空が広がり、心地よい風が吹き抜ける絶好の行楽日和。菜の花の甘い香りに包まれ、道の駅は多くの人で賑わっていました。

今回の菜の花見で、特に心に残ったのは、普段は人混みが苦手な外出をためらいがちな利用者さんの笑顔です。「こんなにたくさんの黄色、初めて！」と目を輝かせ、嬉しそうに話してくださいました。菜の花畑をゆっくりと散策したり、他の利用者さんやスタッフと一緒に記念写真を撮ったりする姿は、見ている私たちも温かい気持ちにさせてくれました。

菜の花の鮮やかな黄色は、見るだけで不思議と元気を与えてくれます。春の息吹を感じさせるその色合いは、新しい季節への希望に満ちているようでした。



観桜会

2025(c) Social Welfare Corp.madoka

4月5日（土曜日）、毎年恒例となっている
観桜会を福山城公園で開催しました。

今年度は すみれ工房・とまり木の合同実施。

快晴の空の下、満開の桜を楽しみながら

お花見弁当を手に

皆さん楽しまれていました。



普段は話をする機会が少ない

それぞれの事業所の利用者さんとの

会話を楽しませていました。



屋台やキッチンカーなども多く
買い食いも醍醐味の一つですね。



笑顔も満開な一日でした♪

2025年度スタートにあたって

バラ会会長 田和桂子

バラ会が結成されたのは1965年（昭和40年）、なんと今年で60周年を迎えることになります。バラ会結成後の歴史を振り返ると、結成後23年を経て今津町に「すみれ工房」を開設、2001年にはすこやかセンターに「ふれあい喫茶」を開店、その3年後に「すみれ工房」は三吉町に移設、そしてその翌年2005年社会福祉法人「まどか」が誕生したようです。それから20年経った現在は、当時活発に活動していたバラ会は会員の高齢化もあり、バラ会活動は停滞し、数年後には消滅することになるかもしれません。

そのような中、改めて2010年発行の「バラ会のあゆみ」に記載された当時の会長の言葉に立ち返ってみたいと思います。

家族が動き出すために莫大なエネルギーがかかりました。**家族はどんなに苦しくても旗を振り続けることに大切な意義がある**との励ましの言葉が身に沁みます。私たち家族は「**家族が声を出す組織強化**」は避けて通れない大きな課題だと思います。このことなくして精神障害者が人間としての人格と尊厳が認められ、安心して地域社会で生活できることは望めません。

ここに示されている「家族が声を出す組織強化」は家族会の原点だと思います。先輩たちが築き今まで守ってくれた「バラ会」は何としても消滅させてはいけない財産です。しかしながら、今のまま何もせず指をくわえていたのでは「バラ会」を持続するのは難しいのが現状です。

そこで、これからの家族会の在り方として他の家族会と連合して家族会連合会として再編していく方向性を模索していきたいと思っています。精神保健福祉に対して問題

意識を共有する家族の輪を広げ、「家族が声を出す組織強化」を今こそ進めていかなく
てはならないと思います。

昨年度の締めくくりの行事として開催した、川崎医療福祉大学教授の長崎和則先生
による『これからの地域包括ケアシステムとは～にも包括の実現に向けて』という講
演会は125名の参加という盛況でした。ここでは、家族会会員以外の一般の方が半
数以上参加してくださいました。

8050問題が現実の問題となっている現座、福山市において「にも包括」の推
進は待ったなしの行政課題です。当事者家族だけでなく広く一般の方々を巻き込ん
で、引きこもり問題や老人問題などと課題を共有する問題解決に向けても「にも包
括」を推進していく必要があります。

この講演に参加して下さった方々の感想には、このような学習を重ねていくことの
大切さとそれぞれの立場で「にも包括」の推進に取り組んでいく必要性が多く記載さ
れていました。せっかくこのような場集った関係者の輪を無駄にせず、更に広げて
いきたいと思います。

このような中、今まさに、今まで個別に活動していた家族会が、細い糸を撚り合わ
せて一本の太い綱を作るように連合して共に声をあげていく時ではないかと思いま
す。

そして「にも包括」を実現させていくために、まずは当事者・家族が人任せにせ
ず、自分の言葉で声を上げていくことの大切さを改めて感じます。

**まずは私たち当事者・家族が学び、「にも包括」の実現に向けて
何が必要か共に考え、共に声をあげていきましょう。**

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・高橋恵子

★ 法人まどかへのボランティア

・岡田美枝・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の行事予定（令和7年5月以降8月まで）

2025(c)	5月	福山市医師会看護専門学校 精神看護実習 受入開始 (10グループ58名、各グループ2日間予定、10月迄)
	6月	BBQ
その他行事は、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。		

編集後記

令和7年度が始まり早一か月です。個人的に色々な課題が多いなーと感じているところですが、皆さんは新年を迎えた時に「今年の抱負」って決めていますか？今年はこんな一年にしたいなー、という感じで私は決めています。ただ、毎年4月を過ぎた頃に一度挫折しそうになるんですよね。ゴールデンウィークの連休中に気分転換をして何とか持ち直しているの、今年は挫折しそうにならないようにしたい今日この頃。

（すみれ工房 管理者 高橋恒二郎）

Facebook



HomePage

